

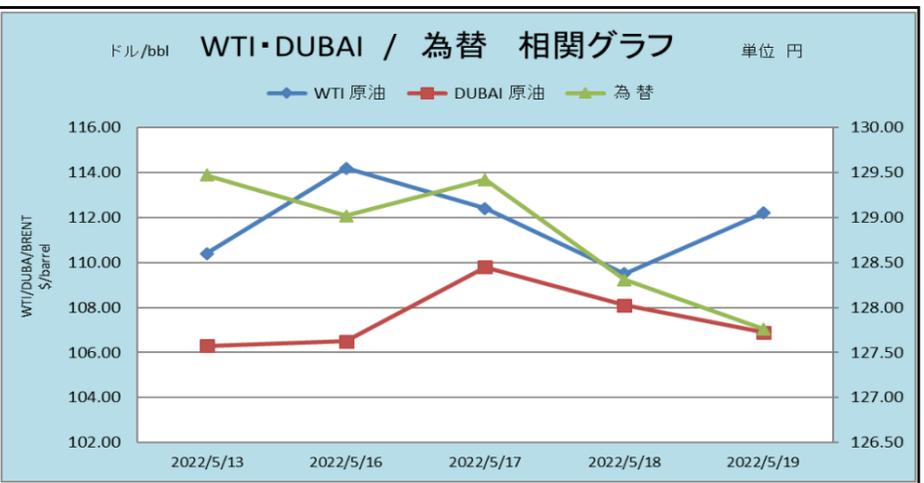
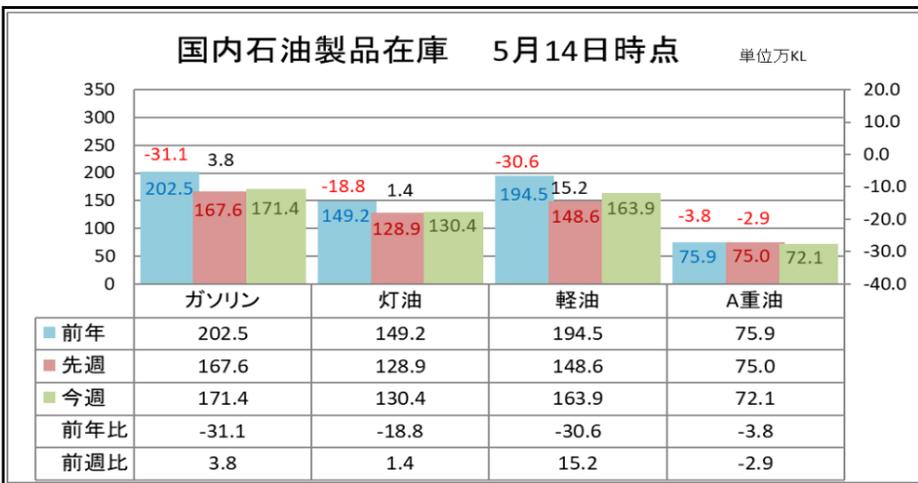
イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/5/20作成 (株)新出光

【概況】<中国ロックダウン規制緩和～米国経済指標 >

●13日、対ロシア制裁強化に伴う欧州を中心とした根強いエネルギーの供給不安に加え、ガソリン先物や米国株の上昇と景気先行き不透明感を背景とした前日までのリスク回避ムードが一服し、この日は世界的に株高となり同じリスク資産である原油先物相場は110.49ドルへ続伸しました。
 ●16日、ロックダウン(都市封鎖)が続く中国・上海市は、15日に新たに確認された新型コロナウイルスの感染者数が53日ぶりに1000人を下回ったと発表しました。これを踏まえて段階的に規制を緩和し、6月下旬にかけて経済や市民生活の全面的な正常化が予測されます。また、米国内での製品在庫が歴史的な低水準に落ち込んでおり、米国の原油輸入増から相場が高騰する事が予想されます。原油相場は114.20ドルへ続伸しました。
 ●17日、前日に2カ月ぶり高値を付けた反動から利益確定の売りが出ました。また、欧州連合(EU)が16日の外相理事会で、ロシアへの追加制裁案の一環として、同国産原油の輸入禁止を協議しましたが合意に至らず、供給混乱に対する過度の懸念が後退したことで、112.40ドルへ反落しました。
 ●18日、米国の急激な金融引き締めによる景気減速懸念を背景とした米国株の急落やドル上昇を嫌気し相場は109.59へ続落しました。一方ロックダウン(都市封鎖)の緩和に踏み出した中国・上海で金融機関の営業再開が許可され、経済活動正常化への期待が拡大しております。
 ●19日、19日のニューヨーク商業取引所(NYMEX)の原油先物相場は、低調な米経済指標を受けて売りが先行したものの、ドル安を追い風に買い戻しが入り3日ぶりに112.21ドルへ反発しました。また、中国上海市のロックダウンも緩和の方向となっている為、相場の上昇の追い風にもなっております。

5月20日 17:00現在 WTI原油 111.65ドル 為替 1ドル 128.85円



	次回元売変動予測	
	5/26～	元売変動予測
ガソリン	➡	+1.7～+2.2
灯油	➡	+1.7～+2.2
軽油	➡	+1.7～+2.2
A重油	➡	+1.7～+2.2
LSA	➡	+1.7～+2.2

※原油コスト「+3.0円～+3.5円」
 ※激変緩和補助金「-37.4円」
 ※現時点での予測です。

【製品卸価格】<市況連動玉の販売攻勢が強まる>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「-3.0円」、補助金「-36.1円」となり、実質「-4.4円」の値下げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの16日時点の小売価格平均は170.4円となっております。
 今週のマーケットの主役は、市況連動玉を持つ業者です。19日からの大幅な下げを予測し18日までに販売枠を消化しようと販売攻勢をかけています。
 《5月21日以降》次回の元売り改定は、原油コスト「+3.0」の値上げ改定予測で、激変緩和補助金は「-37.4円」の見込みで、都合「+1.7円値上げ」の改定の予測となっております。19日以降の販売の主役は元売週間玉を持つ業者です。市況連動玉を持つ業者は、週間玉の価格に対抗できないため先週までに枠を消化した先が多いです。枠を残した業者は、26日以降の値上げ以降の販売をにらみ、玉を温存する先もあります。また、サウジ調整金が6月2日より+3.6円と予定されており大幅な価格改定になるため月末月初の仮需が発生しローリー手配が厳しくなると思われます。

【次世代エネルギー】<ペロブスカイト太陽電池>

経産省機関と民間企業が力を結集、次なるエネルギー革命の翼を担う電池です。ペロブスカイトと称される結晶構造の材料を用いたニュータイプの有機系太陽電池であり、従来のシリコン系太陽電池などと比べ薄型・軽量で曲げることも可能という特性を有し低照度の環境でも発電効率が高く厚みはシリコン系太陽電池の100分の1程度と非常に薄く、これまで困難だった自動車のボディやルーフ、建物の壁面や窓などといった場所に設置できる優位性を持つとの事です。ペロブスカイト太陽電池の製造法はプラスチックやガラスなどの基板上に光吸収層となる材料を塗布し焼いて作るというシンプルな工程であるため、製造コストが安いのも大きな強みとなっています。2050年に5兆円の巨大市場創出を見込んでいます。

[出典] ① <https://kabutan.jp/news/marketnews/?b=n202204160131>